

# 施策評価シート（令和5年度実績）

施策名 **29 地域の歴史的遺産を守り生かす**

		施策コード	040029
1. 施策の体系と担当課			
第5次総合計画	将来像	4 ひとと地域の資源を生かし にぎわいを生み出すまち	
主管課	教育部 文化財保存活用室		
関係課			

2. 施策の目標	
10年後の目標	
<p>市内に残る歴史的遺産の価値を市民が認識し、行政だけでなく、地域の人々や各種団体が、歴史的遺産の保護と活用を担っている。また、その活動を通じて地域コミュニティが活性化し、多数の人々ににぎわっている。</p>	
10年後の目標に向かったの主な取組み	
市の取組み	
<p>○地域文化財の調査結果の公開や文化財の指定・登録など、文化財の保存を進め、市民の文化財保護の意識の向上につなげる。          ○あらゆる世代の人々が地域に根ざした歴史的遺産やまち並みの価値を再認識し、守り親しむことができるような取組みを行う。          ○寺内町や旧家住宅など、地域文化財を活用した地域づくりを推進する。          ○岩橋善兵衛の功績が影響を与えた学術分野にも研究を広げ、その功績について情報発信する。</p>	
市民・団体・事業所等の取組み	
<p>○歴史的遺産を保存・活用する意識を高めるとともに、後世に伝えるべき伝統文化の継承に取り組む。          ○所有者自らが歴史的遺産の保存・活用を行う。          ○地域住民を主体とする団体は寺内町を中心とした空き町家の効果的活用に取り組む。</p>	

3. 施策を取り巻く状況	
社会環境や法令等の変化	
<p>文化財保護法の改正（平成31年4月1日施行）に基づき、大阪府は文化財の保存と活用を体系的・計画的に進めていくために、令和2年3月「大阪府文化財保存活用大綱」を策定した。本市においても、市内に存在する歴史的遺産を把握し、政策・観光部門等関係機関と連携して、文化行政全体としての一体性を図り、総合的・計画的な保存・活用に取り組む必要がある。</p>	
新たな市民ニーズ	
<p>文化財を次世代に継承すること、学校等と連携し子どもたちに郷土愛を育むこと、文化財の防災・防犯に対する意識の向上、文化財を活用した地域振興を行っていくことが望まれている。</p>	

4. 施策にかかるコスト			単位	R4予算	R4決算	R5予算	R5決算	R6予算
コストの内訳	投入人員	正職員数	人		1.92		4.7	
		会計年度任用職員数			2.06		2.0	
	人件費	直接人件費			23,884		43,806	
		間接人件費			2,913		8,609	
	直接事業費	千円		9,665	13,535	15,868	13,816	14,605
	間接事業費				0		1,356	
フルコスト				40,332		67,587		
財源内訳	使用料及び手数料							
	国庫支出金				2,536		2,570	1,446
	府支出金							
	市債							
	その他			100	8,487	100	8,414	100
	一般財源1（＝フルコスト－特定財源）					29,309		56,603
一般財源2（＝直接事業費－特定財源）				9,565	2,512	15,768	2,832	13,059
備考								

5. 施策の成果指標							
成果指標1		歴史・文化に関する行事への参加人数（セミナー・古文書関係講座）					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
人	毎年度	900	増加	800	916	900	900
成果指標2		文化財の指定・登録件数					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
件	毎年度	280	増加	252	252	254	254
成果指標3							
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向				

6. 施策を構成する事務事業ごとの評価結果（令和5年度実績）										
事務事業名	最重要指標			事業費				方向性		所見
				人件費						
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(見込)			
埋蔵文化財発掘調査事業 (文化)	届出、依頼数と調査件数の係数			303	212	458	746	成果	簡易評価	
	R5実績	20.8	%					資源配分		
	最終目標値に対する達成率			2,946	2,321	9,945	0			
文化財保護事業 (文化)	講座等の参加者数（講師派遣分）			6,049	1,722	1,407	1,796	成果	A：向上を図る	引き続き参加者の増加を図る。
	R5実績	296	人					資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率			5,489	10,081	23,153	0			
郷土資料室事業 (文化)	展示会観覧者・かいづか歴史文化セミナー・古文書講座等参加者数			4,472	4,339	4,458	4,908	成果	A：向上を図る	今後も企画展・特別展において本市の様々な歴史資料を展示し、文化財の価値や魅力を広く周知していく。
	R5実績	3,948	人					資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率			9,865	6,721	9,026	0			
貝塚市歴史展示館事業 (文化)	延べ入館者数			2,181	2,414	2,079	3,158	成果	A：向上を図る	国登録有形文化財である建造物においてテーマを決めた展示やイベント等を実施し、本市の歴史的遺産について周知していく。
	R5実績	2,888	人					資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率			3,825	2,581	2,611	0			
文化財保存活用地域計画策定事業 (文化)	貝塚市文化財保存活用地域計画策定協議会実施回数			0	4,848	5,414	3,997	成果	D：廃止・終了	進捗状況は予定通りである。
	R5実績	3	回					資源配分	D：廃止・終了	
	最終目標値に対する達成率			0	5,093	7,680	0			

7. 施策の事後評価	
施策指標の分析（達成状況）	歴史・文化に関する行事への参加人数は増加しており、目標も達成している。参加者の評価も高い。一方、文化財の指定・登録件数は5年度に増やすことはできなかったが、現在複数の候補案件の調査を実施中であり、6年度以降増加する見通しである。
構成事務事業に課題はないか	特になし。
実施主体（国・府や地域・事業所などとの役割分担）に課題はないか	本市が実施主体であり、妥当と考える。ただし文化財指定・登録は、本市だけでは進められず、所有者や地元の理解と協力が不可欠である。

8. 今後の方向性	
担当部長の所見	地域に根差した歴史的遺産を、地域の人々や団体とも連携しながら、保存と活用を推進していく。
担当副市長の意見	本市の文化財の保護・調査を進めるとともに、講座等を通じ歴史的遺産の価値を広く周知し、地域の活性化に活かしていく。